



## 鶴岡学園創立七十五周年 記念式典並びに祝賀会 盛大に挙行される

# 鶴

岡学園創立七十五周年記念式典は平成二十九年六月三日(土)、昨年十一月に竣工した鶴岡記念講堂において挙行されました。

緑も目に鮮やかな恵庭キャンパスは、約五百六十人にかかる参加者を迎え、祝賀ムードの中にも落ち着いた朝を迎えました。

式典の前奏として記念ミニコンサート、ピアノ五重奏シューベルトのイ長調「鱒」の演奏が開式をことほぎます。ピアノ演奏は本学の今井由恵先生でした。

式典に先立って、記念事業の「鶴岡記念講堂」建設概要報告が、設計担当の大山博建築設計事務所大山博様からありました。

続いて、施工担当の清水建設と設計担当の大山博建築設計事務所に対し、感謝状の贈呈が行われました。そして、清水建設株式会社社長の宮本洋一様が謝辞を述べられました。

式典が開始され、国歌斉唱に続き本学の鈴木理事長・学長が式辞を述べました。創立期の先人の功労を称え、建学の精神に基づき現在の立ち位置を確認し、未来を展望する「教育百年ビジョン」を提示しました。

ご来賓の文部科学省高等教育局私学部長様の祝辞は参事官の松永賢誕(さとのぶ)様が代読されました。学園が果たしてきた社会的使命への功績と、未来への期待をこめた言葉をいただきました。

引き続き元文化庁長官、現在は本学園相談役でもある佐々木正峰様からは、なかば

身内としての激励をいただきました。

恵庭市長様の祝辞は副市長の北越俊二様が紹介されました。地域の発展に共に手を携えて取り組む現状と、将来の連携関係の進展に言及されました。

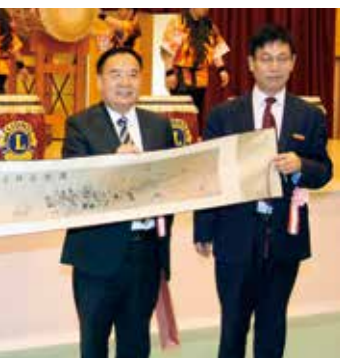
日本私立大学協会会長の祝辞は副会長の森本正夫様が伝達され、私立大学教育の難局を全学一致の姿勢で乗り切ることが期待するとのお話がありました。

午後に入りまして、大学体育館で「記念祝賀会」が開催されました。

本学橋内副学長による本学の歴史と謝意をこめた開会挨拶に続き、本学園とは永く親交の深い、徳島文理大学村崎学園理事長村崎正人様からの祝辞をいただきました。

協定校の来賓紹介の場面は、本学のトスカー国際交流委員長の紹介により心温かな交歓が行われました。続く祝辞と祝杯は鈴木理事長との親交の深い、鎌倉女子大学理事長福井一光様が永い関わりのエピソードを交えて高らかに声を上げられました。

アトラクションは、地元恵庭市民による「恵庭岳太鼓」の方々が「山彦太鼓」と「SL太鼓」を勇壮に演奏してくださいました。加えて本学の北海道文教大学吹奏楽部が、真摯で真面目な演奏を奏で、その好対照ぶりが皆様に好感をもって迎えられました。締めめの挨拶は、学園伊藤理事がご来賓の皆さまへの感謝と全教職員の明日への期待の言葉をもってお開きとなりました。



# 祝賀会

来賓をはじめ、出席者の多くが本学吹奏楽部の華やかな演奏、恵庭岳太鼓の力強い演奏を堪能し、和やかな雰囲気の中で祝賀会が行われました。



式辞を述べる鈴木理事長



左側から村田文部科学省高等教育局私学部長代理、佐々木元文化庁長官、原田恵庭市長代理

来賓・海外協定校・地域住民・招待客・学園教職員およそ560名が学園の節目を祝いました。

# 75周年記念式典



左側から森本日本私立大学協会副会長、村崎徳島文理大学理事長、福井鎌倉女子大学理事長



ピアノ五重奏による記念ミニコンサート

# テープカット

「鶴岡記念講堂の開館」を祝して、学校法人役員によるテープカットのセレモニーを行いました。



華やかな演奏で  
会場の皆様をも  
てなしました



恵庭岳太鼓  
による力強  
い演奏



福井鎌倉女子大学理事長  
による祝杯



本学橋内副  
学長による  
開会の挨拶



村崎徳島文理大学  
理事長による祝辞



本学スティーン・トスカー国際交流委員長により海外協定校来賓が紹介された



賑わいをみせる祝賀会会場



協定校との交流の様子



建学の精神「清正進実」



左側から大澤忠廣氏(建学の精神揮毫者)と  
鈴木理事長による除幕の様子

書  
の  
揮  
毫  
者  
大  
澤  
忠  
廣  
氏  
に  
よ  
り  
行  
い  
ま  
し  
た。  
建  
学  
の  
精  
神  
「  
清  
正  
進  
実  
」  
の  
書  
の  
除  
幕  
を  
鈴  
木  
学  
園  
理  
事  
長  
と

## 除幕式



テープカットがされいよいよ開館



テープカット前の記念撮影

## 建学の精神

# 清 正 進 実

鶴岡学園の建学の精神は創設者鶴岡御夫妻の遺された学訓『清く正しく雄々しく進め』を淵源とする。「清く」とは真理を探究する清新な知性であり、「正しく」とは正義に基づく誠実な倫理性を指し、「雄々しく進め」とは未来を拓く進取の精神の称揚が込められている。また、国民の生活の充実に寄与する「実学の精神」に基づくことが明確に示された。これを要約して「**清正進実**」として心に刻むこととする。

## 学校法人鶴岡学園「教育100年ビジョン」

### 【基本方針】

日本社会の地方活性化が進む中で、教育における質保証は時代とともに益々高度化を図ることを求められています。私たちは学校法人鶴岡学園の75周年と、さらにその先を見据えた長期的な視野に立って、社会が求める教育の質を確保し提供するという確たる決意と力を持ち続ける必要があります。そして、国が進める一連の教育改革の方向性を理解し、確認しつつ、本学園の建学の精神「清正進実」のもと、歴史と伝統に則して設定した、鶴岡学園「教育100年ビジョン」に沿って、一步一步着実に具体的な施策を計画・実施し、たゆまない前進を遂げていかなければなりません。

国の地方創成政策のもとで北海道内においても学校法人を取り巻く環境が厳しく変化する中、各設置校において着実な計画を立案・実行することにより、健全な経営基盤を確保すべく努めます。

本学園は、かかる認識・決意のもと、学校法人鶴岡学園の中・長期計画の基本方針を以下のとおり定め、法人ならびに各設置校の安定的な運営に資することとします。

#### 1 教育100年を展望する北海道文教大ブランドの構築

鶴岡学園「教育100年ビジョン」の実現を通じ、本学の歴史と伝統を維持しつつ、社会の要請に応える教育機関として、強い個性と独自性を持った「北海道文教大ブランド」を構築します。

#### 2 教育研究の質保証と国際性のある人材の養成

学生・生徒・園児に対する教育の質保証を追究し、「教育の北海道文教大」を推し進めます。「教育の北海道文教大」に掲げる教育目標・理念の具現化のための諸施策に取り組むとともに「北海道からアジアへ、そして世界へ」という大学の教育理念である「国際性の涵養」という目標を体現する人材の育成を目指します。

#### 3 地域社会への貢献

「開かれた知の拠点」として、地域と社会の要請に応えます。生涯学習、社会貢献活動、自治体との協働研究等を通じて地域社会の発展に積極的に貢献します。

#### 4 学生・生徒並びに保護者の満足度を高める施策の推進

学生・生徒の希望する進路・就職を実現する体制の構築のみならず、保護者の満足度を高める教育を目指します(就職率・進学率・国家試験合格率等の向上)。

#### 5 ガバナンス体制の強化と改革推進

学園としての経営基盤確立および理事長・学長のリーダーシップ発揮を通じ、学内合意形成及び意志決定の迅速化、計画推進力の強化をはかります。

# 知の発信基地として—— 鶴岡記念講堂

## 鶴岡記念講堂設置の目的

恵庭キャンパスにおいて、2学部および大学院4研究科体制の整備を終え、いっそうの教育・研究環境の充実と地域社会との共生を視野に入れスタートした鶴岡記念講堂建設計画は、①北海道文教大学の知の発信基地創造 ②ますますグローバル化が進む社会における本学と諸外国大学との交流拠点開設 ③地域の人々と触れ合い、相互に共生し発展する場の設置を目的としたものです。計画の推進にあたっては、鈴木武夫現理事長・学長が陣頭で指揮。その強力なリーダーシップのもと、予定通り2016年11月に鶴岡記念講堂が竣工しました。

## 北海道文教大学恵庭キャンパスを象徴する外観

鶴岡記念講堂は、古代ギリシャの荘厳な建築遺構をデザインイメージとしつつ、近代的解釈によるモダンな設計プランが立てられました。キャンパス建築群に共通のアースカラーを基調としたタイルに、打放しコンクリートを組み合わせたリズム感のある外壁面は、ガラス面と調和し軽やかなハーモニーを奏でています。恵庭キャンパスの10階建ての本館と双壁をなす、新たなシンボルとなりました。

## 鶴岡記念講堂の概要

メイン施設は最大668名収容の記念講堂であり、2階の316座席は電動収納式で、座席を収納すると約400平米のフラットなフロアとして使用できます。ステージを飾る緞帳は、本学の同窓会である「つるの会」よりご寄贈いただきました。

記念講堂のほかにも、1階に大教室(210名収容)、2階に中教室(90名収容)、3階に小教室(12名収容)を配置。玄関ホールは開放感あふれる吹き抜けの空間となっています。加えて、76席の絵ガラス張り多目的室、鶴岡記念図書館と連結した個別学習スペースも開設。多彩なシーンでの有効活用にイメージがふくらみます。



鶴岡記念講堂 外観



記念講堂(大ホール)



玄関ホール

## 鶴岡先生史料室

「鶴岡先生史料室」には入る前の壁面で、学園の「清正進実」という建学の精神を心に刻みながら歩を進めます。それから三段階で学園の歴史を学ぶことになります。

第一段階は入口から右手の壁面に掲示された年表によって、「学園の沿革」をたどります。恵庭の歴史も対比されていて地域とともに進む姿勢が明確に示されています。

第二段階で左に進みますと、壁面展示ケースに史料が展示されています。学園創生期のエピソードと映像資料と書籍によって「学園の創生期」について学びます。

第三段階は展示用土台と中央のガラスケースの中の調度品や記念の史料によって「創業者鶴岡新太郎先生・トシ先生の遺徳」を偲びます。



調度品や記念の史料によって鶴岡新太郎先生・トシ先生の遺徳を偲ぶ

開場の初期として鶴岡先生御夫妻の資料に焦点を絞りましたが、史料室の倉庫には創業者に続いて教育の灯火を受け継いだ人々の、豊富な資料が収蔵されています。

順次展示を加えることによって、先人のご労苦を偲びつつ、新たな気力を奮い立たせ、学園の教育理念の力で人々の心を照らす部屋となることでしょう。



鶴岡先生史料室の様子



学園創生期のエピソードなどが展示されている

# 熱い抱負!



国際言語学科1年  
岡 虹歩 さん  
(札幌新川高校出身)

**実践的な英語力を鍛え、国際交流の場面で役に立ちたい。**

大学に進んだら、好きな英語を納得いくまで学びたい。そんな思いが高校の3年間を過ごすうちに強くなり、北海道文教大学を選びました。ここに決めたのは、すべて英語でおこなわれる講義が豊富にあるなど、実践的な英語力が鍛えられる機会に恵まれているからです。また、奨学金の制度が充実していて、留学をする際にも補助していただけるシステムが整っていることにも魅力を感じました。

海外から日本を訪れる方々は、これからはますます増えていくと思います。その逆も同様でしょう。将来、観光の仕事に携わり、さまざまな国際交流の場面で役に立てるスペシャリストになりたいと考えています。そのための勉強は、とても楽しいですよ!



健康栄養学科1年  
山影 風海 さん  
(苫小牧東高校出身)

**管理栄養士の資格を取って、商品開発に携わりたい。**

食えることが大好きなので、食事と健康との関係について知識を深めたいと考えていました。食を通して人々の健康づくりに役立つ仕事に就くために、管理栄養士になることをめざしています。いちばんやってみたいのは、機能性食品などの商品開発です。

私が北海道文教大学を選んだのは、道内でもっとも多くの管理栄養士を輩出していて、就職にも有利だから。地域に寄り添ったさまざまな活動も積極的にこなっている中で、教室の外でも実践的に学べる機会がたくさんあると思ったからです。楽しい仲間たちと開放的なキャンパスで過ごす大学生活に、とてもワクワクしています。



理学療法学科1年  
及川 啓吾 さん  
(札幌藻岩高校出身)

**国家試験や就職に強く、先生方の指導もとても熱心です。**

小学生のときからスポーツをやっていたので、よくケガをしていたので、理学療法士の存在は身近なものでした。その仕事ぶりを見ているうちに、自然に憧れの気持ちを抱くようになり、自分も同じ道に進みたいと考えたのが、北海道文教大学に入学した理由です。国家試験の合格率や就職率が抜群に高いこと、環境や設備が整っていること、オープンキャンパスで先生方の熱心な指導ぶりにふれたことなども決め手になりました。

いま、いちばん興味をもっているのは、人体の構造や仕組みを学ぶ「解剖学」です。サークル活動も思いのほか楽しく、コミュニケーション力アップにつながっています!

## 新入生歓迎会

4月22日(土)に本学体育館にて開催された「平成29年度新入生歓迎会」は、天候に恵まれず、雨天での開催となりましたが、150名を超える新入生が参加してくれました。新入生歓迎会は学友会中央執行委員会が新入生同士で交流できるよう様々な企画を用意し、親睦を深めることが目的で、毎年実施されているビッグイベントの一つです。

各サークルの紹介やパフォーマンス、YOSAKOIソーランサークルの演舞に、新入生は興味津々で、楽しくて充実した時間を共有することができました。

今回の新入生歓迎会では、一緒にゲームへ参加したり、食事をするなどで、より一層親睦を深めることができ、さらには、サークルに所属している先輩学生とも交流を図ることができました。このイベントを通し、4年間の大学生活をより充実させる糧となることを願っています。



# 新入生より



作業療法学科1年  
芝田 菜々美 さん  
(札幌稲雲高校出身)

楽しい治療を提供できる  
実力を身につけた作業療法士に。

オープンキャンパスに参加したときに、自分もこの素敵なキャンパスで勉強したいと思い、北海道文教大学を選びました。作業療法士は、心身に障がいを抱えた人が日常生活に必要な作業ができるように訓練をおこなうスペシャリストです。この「日常生活に必要な作業」を取り戻せるよう、楽しい治療を提供できる実力を身につけた作業療法士になりたいと考えています。

「解剖学」や「生理学」をはじめ、人体のしくみに関する科目がとくに興味深く、充実した毎日を送っています。同じ学科の友だちだけでなく、ほかの学科の仲間ともコミュニケーションを深めながら、人間的にも柔軟で幅広い視野をもてるように努力したいと思います。



看護学科1年  
辻 七海 さん  
(北広島高校出身)

仲間や先輩たちに恵まれ、  
協力しあいながら学んでいます。

もともと人体のしくみなどに興味をもっていて、きちんと体系的に学んでみたいという思いから看護師を志すようになりました。医療の現場ではさまざまな専門職種の方と協力しあって患者さまの治療にあたるチーム医療があたりまえになっていると聞きますが、北海道文教大学には理学療法や作業療法などの学科もあり、実際のチーム医療に近い環境で学べると期待しています。

入学するまでは、講義についていけるか、友だちができるかなど、不安や心配でいっぱいでしたが、同じ目標をもつ仲間や先輩たちに恵まれ、みんなで協力しあいながら毎日楽しく過ごしています。勉強も、サークルも、全力でがんばります！



子ども発達学科1年  
佐藤 史歩 さん  
(倶知安高校出身)

アットホームな大学だから、  
安心して学べます。

保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭のなかから最大3つの免許・資格を取ることができなのが、北海道文教大学に入学した理由です。オープンキャンパスに参加したとき、敷地の広さや立派な施設はもちろん、先輩たちが明るくイキイキとして先生方もあたたかく、大学全体がアットホームな雰囲気に包まれていることに、とても良い印象をもちました。その印象は、実際にこの大学の学生になってからも変わりません。

私はいま、小学校教諭のほか、幼稚園教諭、特別支援学校教諭の免許取得を目標に、勉強を進めています。壁にぶつかっても、仲間や先生と一緒に乗り越えていきます！

## 新入生宿泊研修 〜新しい大学生活がスタート〜

新しい仲間と一日も早く友好関係を築き、スムーズに大学生活が送れるよう、平成29年4月10日(月)、11日(火)の1泊2日で「新入生宿泊研修」を実施しました。北湯沢温泉の「緑の風リゾートきたゆざわ」を研修会場とし、新入生515名、先輩サポート学生や教職員を含む総勢612名が参加しました。

新入生同士のため、研修スタート時は会話も少なく、人見知りしているように見えました。バス中でのゲームやランチをとるに過ぎているうちに徐々に緊張がほぐれ、午後のグループワークでは、ポスター製作の協同作業をおし、学生同士の絆がさらに深まりました。先輩学生とも交流ができて、充実した2日間となったようです。

好評だった宿泊研修は、さらに内容を充実させ、次年度も引き続き実施を予定しています。



# 就職力宣言

## 二〇一七年三月卒業生の 就職活動状況について

前年に続き、二年連続の採用スケジュール変更となった就職活動は、企業の採用意欲も影響し、短い期間の中で採用選考が進行する「超短期決戦」となりました。

本学も内定状況は各月とも前年を上回ることが出来、全国の大学の中でも上位の就職率となります。

一方、内定者と話す中で、多くの学生に共通して言われたことが  
・解禁時期まで何もせずにいたら、「既に応募が始まっていたり締め切ったりしている企業が多くあった」  
・売り手市場と聞いているため、「どこかには内定が貰えるでしょう」と、他人事のような就活生も少なからずいます。

結果、毎年秋頃になると、複数の内定を所持している学生と、まだ内定がない学生とはっきり分かれています。「もっと早くから、就活を始めておけばよかった」ということです。

今年も学生一人ひとりの進路実現に向け、きめ細かなサポートを行います。

### 国際言語学科

「売り手市場」と言われる中であっ

ても、学生の動きは素早く、三年生後期就職講座から、自己分析・業務研究を行い、インターンシップにも積極的に参加しました。三月札幌ドーム合同企業説明会開催時には、既に応募企業を確定している学生が存在しました。その結果、先行集団(母集団)早期内定の影響から、年間各集団の内定ペースが早まり、昨年度十二月末時点では、全体の八十五%が就職内定を獲得しました。

後半戦は、未内定者向け「リ・スタートセミナー」・「学外就活スペース(札幌駅北口)講座」開催と共に、学生個々の悩み、特に心理面に留意した個別相談に傾注しました。

最終結果として、過去最高の就職率を達成しました。今後も、様々な業種・職種への就職可能性を探る学生に対し、蓄積した情報・ノウハウを發揮し、就職支援を実施していく所存です。

### 健康栄養学科

景気好感度を反映し、企業各社は夏から年末にかけてインターンシップ・企業研究会と銘打ち、意欲的採用活動を開始しました。

学内就職講座では、専門職だけに限定せず、業種・職種に幅広い活動を促し、就職戦線「春の陣」・「秋の陣」と

大別し、新たな挑戦の機会として取り組みました。

春の陣は、できる限り多くの業界に挑戦するよう促し、食品メーカー・菓子業界・ドラッグストア等の総合職中心に情報提供を行いました。総合職に挑戦する学生は、一日限定インターンシップに積極的に参加しました。学生各位の前向きな活動が、これまで機会がなかった上場企業との新しい関係を形成し、新規採用と大きな母集団形成に繋げる事が出来ました。

秋の陣は、専門職としての活動期間と位置づけ、病院・老人保健施設はじめ保育園・給食受託企業など栄養士求人にも果敢に挑戦していました。

諦めず、粘り強く取り組む学生各位の姿勢が、これまでにない学科の就職率達成の大きな力となりました。

### 看護学科

三月に「マナー講習」と「小論文対策」に力を入れたキャリア支援講座を開催すると共に、札幌市で行われた病院合同就職説明会に参加して、各医療機関から直接情報収集を行いました。さらに今年度も、希望する病院のインターンシップに参加する学生が、益々増える傾向が認められました。

今年度は、第一志望の病院に合格出来ないケースが例年になく多く発生し、活動期間が長引く学生も現れましたが、最終的には各自の努力の結果、希望者全員の就職が決定しました。就職環境が変化した要因としては、新

設の看護大学(学科)の卒業生が大幅に増え、競争が厳しくなったことや、医療機関からの求人が道内・道外とも減少傾向にあることなどが挙げられますが、これらの状況を踏まえ、次年度においては、より活動を早めると共に、事前面談を通して慎重に応募先の選定を指導していきたいと思えます。

### 理学療法学科・ 作業療法学科

就職活動に備えて三月下旬に、新四年生全員を招集して事前準備のための合同就職講座を開催しました。更に、八月下旬には道内外から採用実績のある病院を中心に、七十五箇所施設を学内に招いて、「PT・OT合同就職説明会」を開催し、本格的な就職活動に入りました。

求人数が伸び悩む中、新規養成校との競合など、厳しい活動環境でしたが、当説明会には採用実績のある医療機関が多く参加し、平成二十八年度理学療法学科は五十%以上、作業療法学科では七十%を超える学生が、当説明会参加施設に内定致しました。

全体の傾向としては、札幌圏での競争が激化したため、第二志望以降で就職を決める学生が増え、決定時期も例年より遅くなりましたが、札幌圏以外での就職も視野に指導を行った結果、理学・作業両学科とも一〇〇%の就職率を達成することができました。



こども発達学科

平成二十八年年度こども発達学科の内定先は、公務員内定者が増加し、全内定者の三九%に達しました（教員・保育士・指導員等）。要因としては、学科独自の公務員講座開催、各アドバイザーによるきめ細かな個別対策支援が実を結びました。又、幼稚園教育・保育園・特別支援教育・小学校教育の各実習及びアシスタントティーチャー・チャレンジド教室では、講義、実習では学べない社会実践力を身に付けました。専門職分野では、国による「認定こども園」が本格制度化となり、求人票応募要件では、幼稚園教諭及び保育士資格が必須要件として多数占めるようになりました。三つの免許・資格取得が可能な学科の強みを、就職活動に発揮する事が出来ました。その他の内定先は、社会福祉系（支援員・児童指導員）、一般企業（販売・サービス・情報通信）など多岐にわたり、総合結果として、三年連続就職率一〇〇%を達成しました。

夢をかなえる力があります



就職率 [2016年度/全学平均]

全国 第27位

99.8%

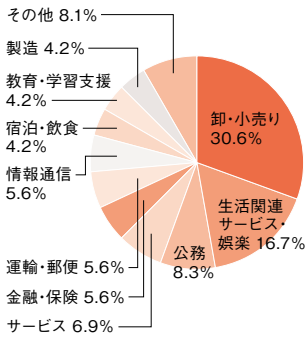
道内 第1位

2017年5月1日現在 (502名/503名 就職決定者/就職希望者)

※1) 朝日新聞出版「親子で探す就職力で選ぶ大学2017」より。全国の就職者数500人以上の国公立私立大学を対象。

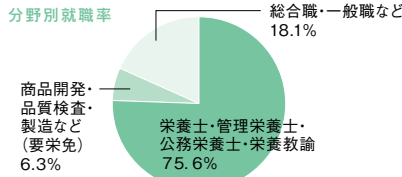
外国語学部 就職率 (2017年5月1日現在) 98.5%

分野別就職率



人間科学部 就職率 (2017年5月1日現在) 100%

分野別就職率



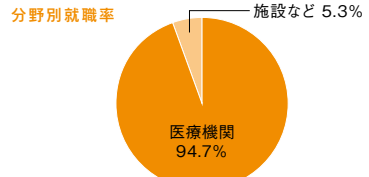
管理栄養士国家試験 合格者数 受験者数130名

104名 道内第1位 全国第15位 合格率80.0% (全国平均54.6%)

道内新卒合格者の3.2人に1人が本学学生

人間科学部 就職率 (2017年5月1日現在) 100% 8年連続

分野別就職率



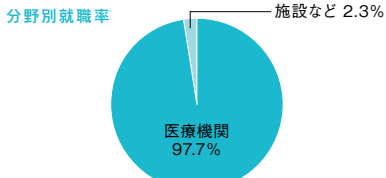
理学療法士国家試験 合格者数 受験者数96名

96名 道内第1位 全国第4位 合格率100% (全国平均90.3%)

道内新卒合格者の5.1人に1人が本学学生

人間科学部 就職率 (2017年5月1日現在) 100% 7年連続

分野別就職率



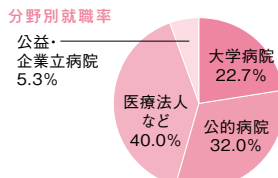
作業療法士国家試験 合格者数 受験者数44名

44名 道内第1位 全国第11位 合格率100% (全国平均83.7%)

道内新卒合格者の6.9人に1人が本学学生

人間科学部 就職率 (2017年5月1日現在) 100% 6年連続

分野別就職率



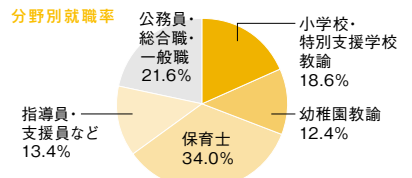
看護師国家試験 合格者数 受験者数83名

80名 合格率96.4% (全国平均88.5%)

「看護師」の高い合格率と多数の合格者数

人間科学部 就職率 (2017年5月1日現在) 100%

分野別就職率



免許・資格取得者数 97名/97名 就職決定者/就職希望者

小学校教諭一種免許: 41名, 幼稚園教諭一種免許: 88名, 特別支援学校教諭一種免許: 65名, 保育士資格: 74名

就職決定者の2.5人に1人が地方公務員

教員採用試験: 一次試験突破: 21名受験, 二次試験合格・採用: 71.4%, 採用率: 90.4%

市・町立保育園: 14名, 市役所等公務員: 3名, 合計: 35名

## 世界食糧計画(WFP)職員による「国連白熱教室」を開催！

国際言語学科では、これまで特別学術講演シリーズ「グローバル・ワークショップ地球庭」での海外からの外交官やNGOの方による講演など、世界の現場で活躍されている一流のグローバル人を大学にお招きして、学生が普段の教室で世界に直接触れる機会を設けてきました。昨年10月には、在札幌米国総領事館からトル領事をお招きして、米国大統領選挙についての特別授業がありました。



そしてこの3月、アフリカの西端セネガルから、国際協力の現場で食糧支援の陣頭指揮を執る、国連世界食糧計画(WFP)職員の野副美緒氏にお越しいただき、「世界を創る人になる～21世紀の国際協力～」と題する特別講義を開催しました。当日は、まず現在と未来の自分と世界について参加者自身が考える時間が設けられ、集められた声を元に展開された講義では、自分の問題としての世界という視点から、野副氏の世界各地での豊富な経験を交えた白熱教室となりました。学生時代にルワンダの現地で見たと大虐殺の惨状、世界各地の震災現場でのボランティア、英国への大学院留学を経て国連職員となった野副氏による迫真の講義は、世界で活躍したい学生たちに大きな刺激となりました。講義に参加した若者の中から、未来を創る人材が世界に飛び出すのが今から楽しみです。



ティア、英国への大学院留学を経て国連職員となった野副氏による迫真の講義は、世界で活躍したい学生たちに大きな刺激となりました。講義に参加した若者の中から、未来を創る人材が世界に飛び出すのが今から楽しみです。

## 「新カリキュラム」スタート

健康栄養学科では、平成29年度入学生より「新カリキュラム」による教育・養成を開始いたしました。「新カリキュラム」は、特定非営利活動法人日本栄養改善学会が提唱する「管理栄養士養成モデルコアカリキュラム」に準拠した未来志向型のカリキュラムとして企画し、文部科学省並びに厚生労働省から承認されたものです。

「新カリキュラム」のポイントは、健康栄養学科の教育理念に掲げる「ヒトの健康に直接アクセスする臨床栄養など『人間栄養学』」と、「食品や食物などを介してヒトの健康にアクセスする『食物栄養学』」とを両輪とする、高度な専門知識・技術を備えた社会の要請に応え得る管理栄養士の養成を目指すところにあります。それは、卒業生の就職実態にも適応するものであり、平成28年度健康栄養学科卒業生の就職率100%を継承しようとするものでもあります。ちなみに、同年度卒業生の約86%が『人間栄養学』または『食物栄養学』に関連する職域に巣立っていきました。これは、他大学にはない本学科の特徴を示すものでもあります。



「新カリキュラム」では、公益社団法人日本栄養士会の厚生法制研究会が指摘する管理栄養士の身分法である栄養士法に、他の医療職種では明確にされている職業倫理に関連する規定の不備を補完する教育科目とともに、管理栄養士とはいかなる資格なのかを深く考え、しっかり認識するための教育科目として「管理栄養士概論」を一年生の履修科目に設定するなど健康栄養学科では、時代を先取りし、21世紀の人々の健康・福祉に貢献する有意な管理栄養士の養成に努めてまいります。

### 健康栄養学科入学から卒業まで



## 理学療法士国家試験は全員合格!新たな希望に満ちた理学療法学科へ!

平成28年度理学療法士国家試験は平成29年2月26日に行われました。国家試験の結果は、全員合格の合格率100%となりました(全国は90.3%)。これも4年生の努力と理学療法学科教員の指導の成果です。平成29年度の国家試験も学生と教員が一丸となって全員合格を目指します。



2年生の実習の様子

さて新年度の当学科の学生数は1年生102名、2年生88名、3年生103名、4年生109名の合計402名となり、大変な大所帯ではありますが、有意義な大学生活となっています。

1年生は勉強を頑張りながらも、沢山ある部活動、サークル活動選びに躍起になっています。

2年生は実習科目、3年生は専門科目の勉強を頑張っています。4年生は臨床総合実習と卒業研究に分かれて勉強をしています。卒業研究は学生各々が研究テーマを持ち、大変活気ある中で行っています。



3年生の実習の様子



4年生の卒業研究の様子

理学療法学科は2名の新教員を迎えて、合計21名の教員となり、学科教員全員が専門性を生かした基礎から臨床へと系統的なカリキュラムを運営しています。さらに理学療法士の教員は、様々な疾患の急性期から生活期まで、そして乳幼児から高齢者まで精通した専門家が揃い、豊富な臨床経験を生かして教育を行います。開設して12年目を迎えた理学療法学科は、充実した学生生活を送ることができる良い環境となっています。

## 作業療法学科・授業の日常とカリキュラムポリシー

作業療法学科では、講義や実習など学生教育に関する学科の到達目標である「カリキュラムポリシー」をリニューアルしました。詳細はホームページをご参照ください。その冒頭に以下の文言を置きました。

「私たち作業療法学科教員は、学生とともに新しいことに挑戦し、学生を励まし、学生の伸びを認める姿勢を保つ」

これを達成するのはとても難しいことです。相当のエネルギーを要します。到達度を数値化で評価するのも容易ではありません。

しかし、学科教員は、日常の講義や演習、学内・学外の実習指導などのすべてで、上記のカリキュラムポリシーを意識するようにしたいと思います。学生が、今できないことや理解できないことがあるのは当然です。学生の知的好奇心を可能なかぎり掻き立て、「わかった」「なるほど」「そういうことだったのか」など挑戦する喜びを、私たち教員も学生とともに味わいたい。学生が伸びてくれることが、私たち教員の最大の幸福でしょう。

学生たちが、未来の作業療法を豊かにしてくれますように。私たちのカリキュラムポリシーは、そんな願いです。



## 看護学科4年生 実習スタート!

看護学科4年次の実習(在宅看護論実習、精神看護学実習、老年看護学実習)がいよいよ始まりました。4年生がいきいきと実習に励む姿は非常に頼もしく、これまでの学びの成果を感じます。

学生からは、「これまでに得た知識を活用しながら最後の実習に臨みたい」「国家試験の勉強と実習を両立させながら充実した実習にしたい」という声が聞かれ、卒業後から看護師として働くという意識が高まっていることが伝わってきました。

写真は、在宅看護論実習初日(学内実習)の様子です。在宅看護論実習では、在宅に暮らす疾病や障害を持つ人々とその家族に対して、看護援助を行うために必要な知識と基本的な技術を習得し、地域で生活する人々に対する在宅ケアサービスの活用について理解することを目的としています。学生も実際に利用者の方の自宅を訪問し、訪問看護ステーションの看護師と共に、ケアに参加します。今までの病院実習とは異なり、退院した患者さまが地域でどのような暮らしをしているか学び、自宅に訪問する上で必要なマナーや対象者の個別性に合ったコミュニケーションを身に付けて欲しいと思います。グループメンバーと協力しながら、また自身の強みを活かしながら頑張ってください。



## 「こども発達学科に保育演習室2ができました」



保育に関する授業では実践的な学びが不可欠です。「保育内容総論」(1年次)では子どもの遊びの展開方法や保育実践の基本などを学び、「乳児保育」(3年次)では、乳児の人形を用いたおむつ交換や授乳の仕方などを学びます。これらの授業は、これまで「子育て教育地域支援センター」(通称ペンギンルーム)と同じ保育演習室で行っていましたが、今年度からは、新しく保育演習室2ができそれぞれの授業が多様に展開されることが期待されます。「こども学総合演習」(3年次ゼミ)での使用も見込まれ、実際の保育に即した研究を円滑に行う体制がさらに充実しつつあります。

広さが中教室ほどで、子どもたちがゲーム遊びをする場面や運動遊び、製作物を使つての遊び、コーナー遊びなどの環境設定の想定もしやすくなりました。

また、この教室は学科独自の活動である「チャレンジド教室」(障がいを持った子どもたちとの活動)にも新しい活動の可能性を広げます。

保育の授業の充実と併せて、保育・教育を学ぶ学生のより実践的・主体的な学びや研究の深まりを支える場となることが期待される保育演習室です。

## ナビゲーションHBU2017開催～大反響に膨らむ次回開催

新イベント名称は、「ナビゲーションHBU2017」です。昨年11月末に竣工した「鶴岡記念講堂」のお披露目も兼ね2017年1月21日(土)に開催されました。本イベントは2017年度入学試験において既に入学手続きを完了している公募推薦・AO入試等の合格者を対象に各学科教員が案内人となり、各学科の先輩達が入学予定者に向け、各学科の学びの特色やその成果を分かり易くプレゼンテーションしました。参加者は、既に経験しているオープンキャンパスとは異なり、全員が各学科の発表を体験し、それぞれの分野にチャレンジする仲間や大学全体を理解するのに大いに役立つイベントとなりました。

開幕は健康栄養学科による「北海道文教大学版夢ナビ」、案内人の板垣教授による軽妙なトークと4年生を中心とした成果披露で多に注目を浴びました。また、管理栄養士の多彩な活躍の様子に理解を深める事ができました。続く2番手は、「大きな成功体験は語学力+α」国際言語学科の佐野准教授と4年生による流暢な英語を交えたスピーチが大きなインパクトを与えた様子です。中でも先輩による「留学体験で広がる舞台」のスピーチは入学予定者の可能性とチャレンジ意欲を高めるのに充分であったようです。続くこども発達学科の発表は、特別支援学校教諭・小学校教諭・教育行政職・保育士(地方公務員)の各分野内定者4名と西野講師によるパネルディスカッションを行いました。先輩達の採用試験に向けての取り組みは、入学予定者に多くの示唆を与えた様子です。午後の部は医療系3学科がそれぞれの学びを中心にプレゼンテーション行いました。理学療法学科では、「医療分野の学修を理解しよう」をテーマに学年別アンケートによる学修意識について、案内人の佐藤講師と「1年生の先輩達」による実習・卒業研究・国家試験の難易度認識等の報告を興味深く聞き入っていました。作業療法学科は、「医療分野では学会研究発表も体験します」のテーマに基づき卒業研究発表会、北海道作業療法学会、日本作業療法学会でのポスター発表について金子准教授のリードで3・4年生が報告、難易度の高い内容にもかかわらず会場全体は熱を帯びていました。看護学科では、「医療分野の教育は積み重ね方式です」と題し看護師への道を3部構成で多賀准教授と3年生2名が具体的に分かり易く説明していました。特に先輩学生の「1年生からの学び～学習科目とその勉強方法」や「私を成長させてくれた患者との出会い」では、熱心にメモを取る参加者の姿も多くみられました。

開幕当初は、固い表情がみられた参加者でしたが国際言語学科の岡本教授によるミニアイスブレイキングにより笑みもこぼれ、和やかさの中にも期待感に溢れるイベントとなりました。後半では、会場使用初という事もあり機材トラブルで中断する場面もありましたが、これも岡本先生の機転により客席インタビューを急遽展開し参加者の感想を聞くことができました。「自分の進む学科以外も発表が聞けて興味がわいた」「大学全体の雰囲気理解でき安心した」「今日、発表された先生の授業を早く受けてみたい」等の感想を述べる生徒が多くみられました。先輩学生から学生生活についての話も多く聞け「4月入学がまちどおしい」「自分もサークルに参加し、提案を行いたい」との感想も多くありました。また、協力いただいた先輩学生スタッフの中には、「入学前に自分の学修目標が定められ羨ましい」「自分の入学時にも同様イベントを開催して欲しかった」等の声も聞かれました。参加した入学予定者および学生スタッフの満足度は、イベント終了後、相互に発生したハイタッチや笑顔に充分に反映されていることが窺がえました。センター入試直前という時期に関係者の皆様には、大変ご苦勞をお掛けしました。入学予定者に4月からの学びや大学生活の様子に早く触れ、不安を取り除き、しっかりと準備をして頂こうと企画開催した本イベントは、各学科の案内役をされた先生方や多くの先輩学生達の準備とご努力により大きな反響と次回への期待感の内に終了することができました。大学では、新年度以降も継続開催に向け検討を重ねてまいります。この場をお借りして改めて関係の皆様にお礼申し上げます。

(入試広報部)



## さらなる高みへ！平成29年度「チーム明清」の新スタッフ紹介

明清高校ではステップアップ・プログラムでのコース制でさらなる進路実現を強化しています。普通科ではこれまでもネイティブ教員による英会話の授業を行ってきましたが、今年度からはさらにグローバル化を進化させるため、GCC(Global Communication Center)教室を開設し、ネイティブ教員を常駐します。そのため、東京成徳大学中高一貫校で英語を教えていたデイビー・ジョン・エドワード・フランシス(John E. F. Davey)先生を本校教員として迎えました。デイビー先生のホームタウンはカナダのトロントで、祖父母はイングランド出身。先生の趣味はウィンタースポーツ、特にアイスホッケーを得意とするスポーツマンで、柔道黒帯の持ち主でもあります。明清のために頑張りたいととも張り切って、毎日、登校指導も行っています。

本校人文特進コースにはサッカープログラムがあり、強化指定クラブとしてサッカー部が各大会で活躍しています。その男子サッカー部監督、そして保健体育の教員として、卓越した指導力を有する土岐勝浩先生が旭川市立北門中学から赴任しました。土岐先生は、これまで旭川市内の市立中学校3校で、3度の全国大会出場、全道大会への出場は常連で、優勝を含めて3位以上の上位入賞が数知れないという結果を出しています。北海道では5名という日本サッカー協会技術委員会47FAチーフインストラクターの資格を有する、まさに指導者の指導者という立場でもあり、これからの男子サッカー部がますます楽しみとなっています。

さらに本校の伝統ある食物科でも、管理栄養士として、また北海道フードマイスター、ジュニア野菜ソムリエ等々の資格を持ち、これまで市内病院や企業等で栄養士として活動していた大村朋江先生が同じく、今年度から「チーム明清」の一員となりました。30代初めには2年間、パナマ共和国へ青年海外協力隊の一員として派遣された経験もあり、こうした多くの経験や指導歴は食物科生徒にとっても貴重な財産となるわけで、さらなる本校での活躍が期待されています。

今年度、明清高校は北海道文教大学との高大連携の一つであるHUB進学プログラムを具体的に進めるなど、新たな高みを目指して進みつつあります。今年度の明清高校の学校経営目標は「チャレンジする姿勢」、「進化する授業」、そして「夢を引き寄せる」の3つです。これらの目標実現に向かって、明清高校にとって大きな新しい戦力となる3名の先生たちとともに、教職員一同、一丸となって「チーム明清」として進んでいきます。



## 楽しい幼稚園

春から初夏に向かう季節です。陽光の輝きと野山の彩色が織りなす美しさは、透明感をまとうて鮮やかです。

本年度の附属幼稚園は、在籍84名でスタートしました。保育の体制は、昨年度お休みだった保育者も復帰するとともに、新任の保育者が1名増えて充実し、園児も保育者もこれからの一年間への期待であふれています。5月の大型連休後も入園、進級の喜びとどの子どもとも意欲的に生活しています。

4月と5月は、新しい生活に馴染むことを目標に保育が計画されているのですが、つい先日まで保育者の援助を必要としていた子が、「自ら行う」と主張する姿が多く見られるのが今年度の特徴です。

写真左は、今年も始まった朝の「ランニング」の様子です。年長クラスなので、始まったばかりですが、すでに前傾をかけて、しっかり体幹で走っていることがわかります。強制することなく、どの子どもも走ることが楽しいと感じることが第一歩の取り組みです。結果として、体力や他者意識も育っていることが嬉しい取り組みです。

写真右は、園庭の側溝の掃除の様子です。年長クラス「つるのこ組」は、「年長組だからこそできること」を、これからの一年間



かけて積み上げていきます。園庭の端の側溝が、落ち葉であふれていて、水が流れにくくなっていることに気づき、みんなの為に自分たちで掃除しようということになりました。自分たちの「やりたい」を、着実に行動に移せることはとても大事です。そして、その「やりたい」が自分のためだけでないことに目を注ぎたいと思います。

# 北海道文教大学後援会活動について

北海道文教大学後援会会長 中村 仁

会員の皆様には、平素より北海道文教大学後援会の活動に対してご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、新年度の執行体制につきましては、4月8日(土)に開催された後援会定期総会後において、新たに4名の保護者理事の選出を終え、本年度の執行体制が整いましたことをこの場をお借りしましてご報告申し上げます。

さて、本学後援会は、「建学の精神に則り、会員相互の協力によって本学を後援し、その発展充実に寄与することを目的」(会則第1条)として、会員の皆さまからお預かりしている後援会費により、(1)就職講座の開講など、学生生活向上のための援助(2)活動団体や行事等への助成など、課外活動に対する援助(3)大学祭や父母懇談会の開催協力・助成、会報の発行など、在学生・保護者との連携(4)学位記授与式記念品助成、卒業祝賀会実施協力など、会員相互の親睦、福利厚生に関する援助等、様々な事業を展開しております。特に10月の大学祭開催

時に行われる父母懇談会は、大学からの学事報告に加えて、教職員と保護者との貴重な意見交換の場として定着しております。

後援会の在り方はここ数年、「いかに北海道文教大学学生として、満足度が高く、有意義なキャンパスライフを送ってもらえるのか」、「そのことを通して大学の発展・充実に寄与できるか」ということを基本スタンスとしております。「この大学に入って良かった」、「安心して預けられる」、「周りや後輩達にもこの大学を紹介したい、勧めたい」と誇りを持って言えるような環境を大学・学生・後援会が三位一体となって作り上げることが出来る後援会事業の展開をと考えております。そのためにも会員の皆様には、大学の充実・発展やここで学ぶ学生たちの為に「今、何が必要か」について様々な視点でご意見・ご要望をお寄せいただくことが、後援会からの積極的的事业提言、そして根拠を持った後援会事業の執行へと繋がるものと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

# 北海道文教大学同窓会つるの会

会長 後藤田 倫子

この度は鶴岡学園創立75周年おめでとうございます。この記念に当たり同窓会では記念講堂に綴帳を寄贈させていただきました。このような形で大学のお役に立てたことを会員一同嬉しく思っております。現在同窓会員は2万名を超えました。北海道内にはそれぞれ支庁ごとに支部会を作り毎年地域でミニ同窓会を開催しております。毎年懐かしい集いが開かれ交流を深めております。このような同窓生を

支援するために研究助成金制度を設けております。これまでこの助成金を活用して各学会発表などに役立てていただいた同窓生も多く出てまいりました。また、大学祭には恵庭地域の皆様に地元産の材料を使った給食を安価で提供してまいりました。今後とも色々な形で大学と同窓生に対して出来る支援を続けたいと思っておりますのでご理解を頂きますようお願い申し上げます。

## 人事

### ◎退職【平成29年3月31日付】

#### 事務局

吉田真俊(財務部管理課主幹)  
堀田栄吉(財務部管理課主任)  
伊藤弘子(財務部管理課清掃員)  
武井由美子(財務部管理課清掃員)  
中尾優美恵(財務部管理課清掃員)  
三谷理枝子(財務部管理課清掃員)  
山田直美(財務部管理課清掃員)  
佐々木尚美(財務部管理課清掃員)  
千葉智子(財務部管理課清掃員)  
広田智美(財務部管理課清掃員)  
明神くみこ(財務部管理課清掃員)  
吉田十代美(財務部管理課清掃員)

#### 北海道文教大学外国語学部

海老子格行(国際言語学科教授)  
長谷川修(国際言語学科教授)

#### 北海道文教大学人間科学部

田中律子(健康栄養学科准教授)  
坂本恵(健康栄養学科准教授)  
松川典子(健康栄養学科講師)  
中村理映(健康栄養学科実験・実習補助員)  
渡部和枝(健康栄養学科実験・実習補助員)  
矢口智恵(理学療法学科助教)  
松本真希(看護学科助教)  
中山貴美子(看護学科准教授)  
佐藤義昭(こども発達学科教授)

#### 北海道文教大学明清高等学校

伊藤奈緒美(教諭)  
山崎千春(教諭)  
山口敏孝(教諭)  
舛田祐市(教諭)  
関宗(教諭)

#### 北海道文教大学附属幼稚園

及川友美(教諭)

### ◎採用【平成29年4月1日付】

#### 事務局

宮田昌樹(総務部総務課課員)  
今泰宏(財務部会計課課員)

#### 北海道文教大学外国語学部

市岡浩子(国際言語学科教授)

#### 北海道文教大学人間科学部

服部富子(健康栄養学科教授)  
今泉博文(健康栄養学科教授)  
白幡亜希(健康栄養学科講師)  
藤井駿吾(健康栄養学科講師)  
鈴木陽子(健康栄養学科助手)  
館山里絵(健康栄養学科助手)  
瀧山晃弘(理学療法学科教授)  
小林英司(理学療法学科助教)  
坂東奈穂美(看護学科講師)  
青木亜砂子(看護学科助教)  
服部裕子(看護学科助教)  
半澤江衣(看護学科助教)  
長谷川美登(看護学科助手)  
原口弘美(看護学科助手)  
高橋道也(こども発達学科講師)

#### 北海道文教大学大学院

宮本重範(リハビリテーション科学研究科教授)  
野田美保子(リハビリテーション科学研究科教授)  
瀧山晃弘(併)リハビリテーション科学研究科教授)  
佐藤公治(こども発達学研究科教授)  
高橋道也(併)こども発達学研究科講師)

#### 北海道文教大学明清高等学校

土岐勝浩(教諭)  
大村朋江(助教諭)  
John E. F. Davey(助教諭)

#### 北海道文教大学附属幼稚園

赤石彩那(教諭)

### ◎昇任【平成29年4月1日付】

#### 事務局

三枝和也(事務局次長(学務担当))  
(併)企画部企画部長・改革総合推進課長)  
山本淑子(財務部長(併)会計課長)  
野呂美貴子(総務部総務課長)  
林田新(財務部管理課主任)

#### 北海道文教大学外国語学部

小西正人(国際言語学科教授)  
渡部淳(国際言語学科准教授)

#### 北海道文教大学人間科学部

高田雄一(理学療法学科講師)  
金子翔拓(作業療法学科准教授)

#### 北海道文教大学大学院

板垣康治(健康栄養科学研究科教授)

### ◎再雇用【平成29年4月1日付】

#### 事務局

吉田真俊(財務部管理課主幹)

#### 北海道文教大学人間科学部

松本真希(看護学科教授)  
佐藤義昭(こども発達学科教授)

#### 北海道文教大学明清高等学校

伊藤奈緒美(教諭)  
山口敏孝(教諭)

### ◎併任【平成29年4月1日付】

#### 北海道文教大学

橋内勇(副学長・人間科学部長)  
三上勝夫(鶴岡記念図書館長)  
黒坂満輝(グローバルコミュニケーション研究科長)  
大山徹(健康栄養科学研究科長)  
木村一志(リハビリテーション科学研究科長)  
後藤守(こども発達学研究科長)  
澤田隆(外国語学部長)  
中村至(国際言語学科長)  
芦川修貳(健康栄養学科長)  
田邊芳恵(理学療法学科長)  
石田裕二(作業療法学科長)  
小堀ゆかり(看護学科長)  
佐藤信雄(こども発達学科長)

#### 北海道文教大学附属幼稚園

小田進一(園長)

### ◎採用【平成29年4月11日付】

#### 北海道文教大学人間科学部

佐々木律子(看護学科助手)

# 平成28年度(2016年度) 鶴岡学園事業報告

## I 法人の概要

### (A)設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生生徒数の状況 (平成28年5月1日現在)

学校・学部・学科等		入学定員数	収容定員	現員数
大学	大学院グローバルコミュニケーション研究科	5	10	9
	大学院健康栄養科学研究科	4	8	7
	外国語学部	100	400	315
	人間科学部	450	1,780	2,026
高等学校		160	480	245
幼稚園		-	80	77

### (B)役員・評議員・教職員数の概要(平成29年5月1日現在)

- 理事の定員:6人以上8人以内 現員7人  
理事長:鈴木 武夫  
理事:北崎 迪子、(常務理事)浅見 晴江、伊藤 雅夫、松本 博樹、橋内 勇、中村 至
- 監事の定員:2人 現員2人  
監事:鈴木 豊、荻根澤 則文
- 評議員の定員:13人以上17人以内 現員17人  
中村 至ほか16人

### (C)教職員数(平成28年5月1日現在)

区分	法人	大学院	大学	高校	幼稚園	計	
教員	本務	-	0	120	25	7	152
	兼務	-	※14	83	11	4	98
職員	本務	3	0	54	3	0	60
	兼務	0	0	16	4	0	20

※大学院は大学学部からの兼務

### (D)施設・設備等の概要(平成29年5月1日現在)

区分	土地	建物
大学計(恵庭キャンパス)	112,831	34,931
高校計(札幌キャンパス)	46,798	7,471
幼稚園計(札幌キャンパス)	4,274	645
法人計	46,517	9,144
合計	210,420	52,191

※蔵書総冊数 187,853冊(平成28年5月1日現在)

## II 事業の概要

### (A)事業の目的・計画及び進捗状況

#### (1)理事会・評議員会の開催状況

学園は本年創立74周年を迎え、大学改革の一環として人間科学部領域の理学・作業療法学科及びこども発達学科を基礎とする大学院研究科の設置認可申請を行い、それぞれリハビリテーション科学研究科及びこども発達学研究科として認可された。

創立75周年記念事業の一環として、前年から建設に着手していた鶴岡記念講堂は昨年11月末に竣工し、併せて恵庭キャンパスの教育・研究環境の整備計画が進められた。

札幌キャンパス(高等学校、附属幼稚園)の教育体制・環境整備については、中・長期の将来を見据えて総合的なキャンパスプランの検討に着手した。これらの教育、研究環境整備等の事業を推進するための財源を確保するため、平成27年9月から行っている創立75周年記念事業の募金活動に積極的に取り組んでいる。

学園の更なる発展を目指し、教育研究の充実と社会貢献活動の実現のために次の目標を掲げ実施した。

1. 大学全体が引き続き社会のニーズに適応することを念頭に、本学の特色である国家試験受験者の合格率を高めると同時に教育改革を進め、社会から必要とされる教育の教授に努めた。
2. 財政の安定化を図るため全学挙げて入学定員の確保に努めた。
3. 教育経費の重点的配分を行い、支出予算の見直しと節約に努めた。
4. 教職員の意識改革と学園の中期的計画を策定したが、更に引き続き充実することとした。

#### (2)主な施設設備の取得とその進捗状況

##### 【恵庭キャンパス整備事業】

- ① 鶴岡記念講堂新設工事が完成  
建築面積約2,977㎡ 総2階建一部3階建 総工事費 1,407,508千円
- ② 大学院研究科増設に伴う図書等購入(2研究科)  
専門教育関係図書、電子ジャーナルほか344冊 2,500千円
- ③ 大学院研究科増設に伴う教具・校具・備品の購入  
(リハビリテーション科学研究科)  
教具・校具・備品 6点 9,016千円
- ④ 大学ネットワーク機器設備の更新 42,217千円
- ⑤ 鶴岡記念図書館ラーニングcommons整備  
鶴岡記念図書館空調設備工事は、大学後援会よりの現物寄付 25,494千円
- ⑥ 力学解析用フォースプレートの更新 15,012千円

##### 【札幌キャンパス整備事業】

計画が進行中です。

- (3)奨学金事業…給付奨学金及び特待制度により学生支援をしました。  
大学部門 52,993千円、高校部門 14,376千円

### (B)北海道文教大学・大学院

#### 1.グローバルコミュニケーション研究科

本研究科言語文化コミュニケーション専攻では、中国語・中国文化コミュニケーションと日本語・日本文化コミュニケーションの両分野の領域の科目及び共通科目を設定して、高度な言語能力と優れた国際感覚をもった人材の育成を行なっているが、隔年開講という新しいシステムを導入したカリキュラムの改正が一巡し、カリキュラム等の問題点も出てきたので、平成28年度は大学院の教育・研究体制の充実・拡充を図るため、授業科目、シラバス、カリキュラムなどの教育課程、教員組織等の改革に向けて検討をおこなってきた。さらに真に国際化を図るためには英語領域の開設が必要であり、引き続き改革に向けて検討を行っていく。

#### 2.健康栄養科学研究科

平成28年度で大学院健康栄養科学研究科は完成年度を迎えたが、2名の研究科教員が退職した。これらに伴って平成29年度の大学院の教育・研究体制の充実・拡充を図るため、3名の教員を補充し、授業科目、シラバス、カリキュラムなどの教育課程、教員組織等の改革に向けて検討をおこなった。

#### 3.外国語学部(国際言語学科)

国際言語学科は、昨年度の外国語学部改編委員会の決定を踏まえ、教育活動支援に携わる構成員が一丸となりグローバル化を進めてきた。外国語教育の充実を図るため、情報ソフトの更新を行うと共に、英語を中心とした新カリキュラムに基づく全学生対象の年間最低1回のTOEIC(公開テスト又はIPテスト)の受験を奨励、各年次の目標スコア到達を目指し、英語コミュニケーションスキルの向上を図った。海外大学等との連携、特に英語圏の大学等と協定を結び、日本人学生の海外派遣や外国人留学生の受入れ等国際交流を強化し、グローバル人材の育成を学部の魅力としたい。今年度はニュージーランドの「クライストチャーチ工科大学」と学術連携協定を締結した。加えて、教育研究はもとより地域貢献の一つとして地域住民と外国人留学生の交流、相互理解を深める場としてグローバルコミュニティーセンター(GCC)を活用、教育支援システム「グレクサ」を導入し、アクティブラーニングに活用している。

#### 4.人間科学部(健康栄養学科・理学療法学科・作業療法学科・看護学科・こども発達学科)

平成27年度に大学院研究科の設置を計画し、リハビリテーション科学研究科・こども発達学研究科の2研究科を申請し設置が許可された。



(C)北海道文教大学明清高等学校

北海道文教大学併設の高等学校である本校は、進学校化へ向けて昨年度から実施している教育活動を継続し、直近には着実に進学実績が出せるよう学力向上を重点項目として運営してきた。

1) 教育活動の事業報告の要点

- ① 進学体制を強化するために導入したコース制の充実にあつた。
  - 新カリキュラムに則った進学体制強化の授業体制。
  - 放課後講習や自学自習体制の確立。
  - 進学体制充実のための隔週土曜授業の活用。
  - 北海道文教大学三上勝夫教授を教育アドバイザーとして授業充実を図った。
- ② ICT機器を導入し成績管理の一元化を図り、教員の教務的実務の軽減を図ったがICT機器操作の不慣れから若干苦勞を要した。
- ③ 定期試験終了後(年4回)生徒から授業満足度調査を実施、教科会議等で検討し授業改善に努めた結果、授業満足度調査から授業改善の効果が確認できた。
- ④ 家庭学習指導強化のためのスクラ手帳の活用を図ったが不十分な面があつた。
- ⑤ 文武両道教育を基本に高い水準で全校の誇りとなる部活動を推進する。
  - 全国的な評価を受けている女子サッカー部は、道内2冠を2年連続で達成できた。
  - 新たに吹奏楽部を強化指定クラブとして活動した結果、「北海道アンサンブルコンクール札幌地区大会」で銀賞を獲得した。

- ⑥ 進路実績としては今年度も北海道教育大学、北海道文教大学をはじめ、大学・短大の合格率が増加し卒業生の50%が進学するまでになった。又就職も学校斡旋希望者は100%達成できた。

(D)北海道文教大学附属幼稚園

平成27年度から子ども・子育て支援新制度(以下「新制度」という。)が施行され、附属幼稚園の今後の在り方については、「施設型給付」に移行し、平成29年度は「幼保連携型認定こども園」への移行手続きを行う。

現有園舎の老朽化等を勘案すると、園舎建て替えの補助金を確保する観点から、できるだけ早期に建て替えの意思表示をする必要があり、平成30年度から「幼保連携型認定こども園(幼50人、保50人)」への移行に合わせて新園舎の建設計画を進めなければならない。

札幌市子ども未来局へ建設費補助に係る申請等日程を考慮し、本年度末までに建設計画を申請、承認を得て平成30年度に新園舎を完成させ、平成31年4月に幼保連携型認定こども園を開園することとした。

また、本学の附属施設として恵庭市内に保育園の指定管理者を受託することについて、こども発達学科は基より、医療系各学科の学外実習施設としてのメリットも大きいので、地元恵庭市の保育園事業計画とも連携をとりながら前向きに検討していきたい。

III 財務の概要

平成28年度の財務概況報告

(1) 資金収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

資 金 収 入			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,002,353	3,001,584	769
手数料収入	35,969	36,690	△ 721
寄付金収入	9,040	9,953	△ 913
補助金収入	407,506	408,136	△ 630
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	10,501	10,507	△ 6
受取利息・配当金収入	13,747	13,748	△ 1
雑収入	89,213	89,201	12
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	535,606	535,901	△ 295
その他の収入	1,164,561	1,172,777	△ 8,216
資金収入調整勘定	△ 693,912	△ 693,657	△ 255
前年度繰越支払資金	4,945,431	4,945,431	0
収入の部合計(A)	9,520,015	9,530,271	△ 10,256

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
翌年度繰越支払資金 (A) - (B)	5,558,873	5,613,374	△ 54,501

(単位:千円)

資 金 支 出			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,724,207	1,699,725	24,482
教育研究経費支出	705,164	735,819	△ 30,655
管理経費支出	247,763	235,511	12,252
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	903,676	806,650	97,026
設備関係支出	216,795	341,063	△ 124,268
資産運用支出	150,000	150,000	0
その他の支出	49,741	40,475	9,266
資金支出調整勘定	△ 36,204	△ 92,346	56,142
予備費	0	0	0
支出の部合計(B)	3,961,142	3,916,897	44,245

【資金収支計算書の目的】

当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入と支出についてその顛末を明らかにするものです。

【資金収支計算書の概要】

資金収入の部合計は95億30,272千円、支出の総額から期末未払金等の資金支出調整勘定を差引いた金額は、39億16,897千円となります。結果として次年度繰越支払資金は56億13,374千円となりました。

## (2) 事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支				
	科目	予算	決算	差異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	( 3,002,353 )	( 3,001,583 )	( 770 )
	手数料	( 35,969 )	( 36,690 )	( △ 721 )
	寄付金	( 40,500 )	( 1,361 )	( 39,139 )
	現物寄付	40,000	863	39,137
	経常費等補助金	( 407,505 )	( 408,136 )	( △ 631 )
	付随事業収入	( 10,501 )	( 10,507 )	( △ 6 )
	雑収入	( 89,214 )	( 89,201 )	( 13 )
	教育活動収入計	3,586,042	3,547,478	38,564
	事業活動支出の部	人件費	( 1,781,307 )	( 1,717,989 )
退職給与引当金繰入額		57,100	65,259	△ 8,159
教育研究経費		( 952,706 )	( 1,014,802 )	( △ 62,096 )
減価償却額		247,542	278,120	△ 30,578
管理経費		( 290,007 )	( 262,860 )	( 27,147 )
減価償却額		42,243	27,349	14,894
徴収不能額等		( 0 )	( 3,962 )	( △ 3,962 )
徴収不能額		0	191	△ 191
教育活動支出計		3,024,020	2,999,613	24,407
教育活動収支差額(A)	562,022	547,865	14,157	

(単位:千円)

教育活動外収支				
	科目	予算	決算	差異
収事入業の活動部	受取利息・配当金	( 13,747 )	( 13,748 )	( △ 1 )
	その他の教育活動外収入	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	教育活動外収入計	13,747	13,748	△ 1
	支事出業の活動部	科目	予算	決算
借入金等利息	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
その他の教育活動外支出	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額(B)	13,747	13,748	△ 1	

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
経常収支差額(A)+(B)	575,769	561,613	14,156

(単位:千円)

特別収支				
	科目	予算	決算	差異
収事入業の活動部	資産売却差額	( 0 )	( 0 )	( 0 )
	その他の特別収入	( 48,505 )	( 45,812 )	( 2,693 )
	現物寄付	39,965	36,346	3,619
	過年度修正額	0	10	△ 10
	特別収入計	48,505	45,812	2,693
	支事出業の活動部	資産処分差額	( 0 )	( 59,393 )
施設処分差額		0	8,463	△ 8,463
設備処分差額		0	50,929	△ 50,929
その他の特別支出		( 0 )	( 0 )	( 0 )
特別支出計		0	59,393	△ 59,393
特別収支差額(C)		48,505	△ 13,581	62,086

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
(予備費)(D)	50,000		50,000
基本金組入前当年度収支差額(A)+(B)+(C)	624,274	548,032	△ 76,242
基本金組入額合計	△ 1,103,956	△ 76,531	△ 1,027,425
当年度収支差額(E)	△ 479,682	471,501	△ 951,183
前年度繰越収支差額(F)	△ 279,803	△ 279,803	0
基本金取崩額	0	275,522	△ 275,522
翌年度繰越収支差額(E)+(F)	△ 759,485	467,220	△ 1,226,705

(参考)

(単位:千円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	3,648,294	3,607,038	41,256
事業活動支出計	3,024,020	3,059,006	△ 34,986

### 【事業活動収支計算書の目的】

事業活動収入と事業活動支出の内容とその均衡状況を明らかにするために作成する書類で、企業会計における「損益計算書」に相当するものですが、利益を測定する目的ではなく、翌年度への繰越消費収入(支出)額を明らかにするものです。学校法人の健全な運営に資するため、収入と支出の均衡だけでなく、資金の支出を伴わない引当金繰入額や減価償却費なども含めた事業活動収支の状況について把握することを目的としています



資金の動きはないが実質的には学校法人の損益となるもの(現物寄付、減価償却額等)の情報を含んでいます。  
資金の動きはあっても実質的に損益とならないもの(借入金等収入、資本的支出(施設関係支出・設備関係支出)等)の情報は含みません。

### 【事業活動収支計算書の概要】

事業活動収入36億7,038千円、事業活動支出30億59,006千円です。

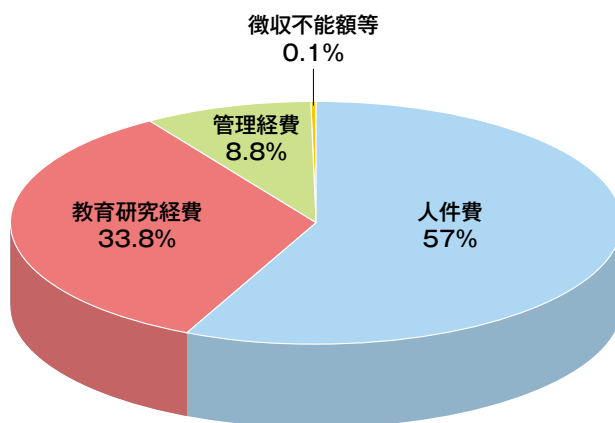
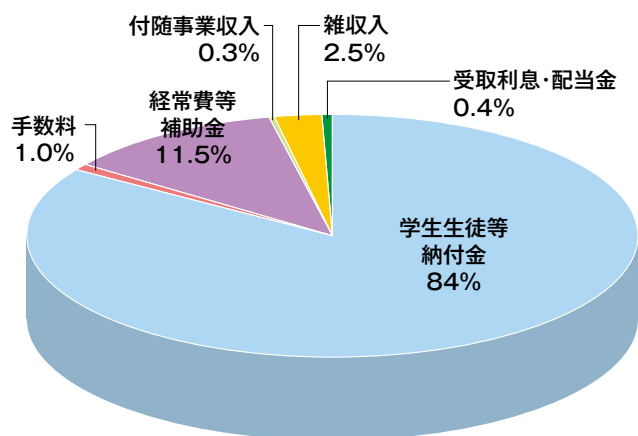
事業活動収支計算書では、事業活動収入から事業活動支出を比較し、その収支差額5億48,032千円から基本金組入額76,531千円を控除して、当年度収支差額4億71,501千円は、収入超過となる収支結果となりました。

よって翌年度繰越収支差額は4億67,220千円となります。

・事業活動収支差額比率は15.2%となっています。(前年度20.9%)

・人件費比率(人件費÷経常収入)は、48.2%となり、前年度より2.9%高くなりました。

経常収入、支出に対する比率



(4) 貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
有形固定資産	7,462,382	6,647,528	814,854
特定資産	1,370,000	2,320,000	△ 950,000
その他の固定資産	20,066	16,165	3,901
流動資産	5,706,907	5,012,859	694,048
資産の部合計	14,559,355	13,996,552	562,803

(単位:千円)

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	12,981,510	13,180,501	△ 198,991
繰越収支差額	467,219	△ 279,803	747,022
純資産の部合計	13,448,729	12,900,698	548,031
負債及び純資産の部合計	14,559,355	13,996,552	562,803

(単位:千円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	481,719	426,879	54,840
流動負債	628,907	668,975	△ 40,068
負債の部合計	1,110,626	1,095,854	14,772

【貸借対照表の目的】

当該年度末における資産、負債、正味財産(基本金、消費収支差額)の状態を表すものであります。学校法人がその時点で、どのような資産(または負債)がどれだけあるかという財政状況を示します。

【貸借対照表の概要】

資産の部合計145億59,355千円、負債の部合計11億10,626千円となりました。

純資産の部134億48,729千円は、従来の基本金と翌年度繰越収支差額で構成された金額をいいます。

(資産の部)-(負債の部)=自己資本(自己資金)



# OPEN CAMPUS 2017

君が来るのを  
待っています。



第2回 7/23 日 10:00~14:30  
OPEN CAMPUS in SUMMER

内容 「入試データの説明と分析」(自由参加)  
「保護者説明会」(自由参加)

第3回 9/17 日 10:00~14:30  
OPEN CAMPUS in AUTUMN

内容 「入試データの説明と分析」(自由参加)  
「保護者説明会」(自由参加)

2018 春休み 3/24 土 10:00~14:30  
OPEN CAMPUS in SPRING  
高校1・2年生対象

内容 「実習体験」「先輩とのフリートーク」  
「キャンパスツアー」

【主な体験講義・実習体験テーマ】

学科	7/23(日)	9/17(日)	2018年 3/24(土)
国際言語学科	・英語と国際関係論	・英語と英語の本質に迫る	・英語を話すのは心? 頭?
健康栄養学科	・「B型は食物アレルギーにならない! ?」	・管理栄養士になったら、何が出来る?	・健康栄養学科は、管理栄養士のゆりかご
理学療法学科	・「こどもの理学療法って何?」	・「立位バランスって何?」	・「理学療法士って、こんな仕事です」
作業療法学科	・講義: 義肢と作業療法士が作成するスプリントの違いについて ・先輩による実習体験: 楯指に対するスプリント療法 ・先輩による実習体験: 転倒予防、認知症予防に期待される「作業」とは	・講義: 作業療法に必要なコミュニケーションと医療面接の技法 ・先輩による実習体験: コミュニケーションと医療面接の実習 ・先輩による実習体験: 生活の中の大切な作業を分析してみよう!!	講義: 人と作業と環境 先輩による実習体験: 自分の好きな作業を分析してみよう 先輩による実習体験: 体験! ドライビングシュミレーター
看護学科	・講義: 夢の謎 ・実習1: 子どもの体を知ろう! ・実習2: ボディメカニクス: 身体の使い方を学ぼう ・先輩学生話: 看護学生の日を聞いてみよう(2・4年生 3人)	・講義: 精神看護の歴史 ・実習1: 高齢者の心と身体を知ろう! ・実習2: 血圧測定 ・先輩学生話: 看護学生の日を聞いてみよう(1・4年生 3人)	講義: 身のまわりの健康リスクを知る 実習1: 正しい手指消毒の方法!! 実習2: 高齢者のレクリエーション 先輩学生話: 看護学生の日を聞いてみよう(1・3年生 3人)
こども発達学科	・「作って遊ぼう」5歳児クラスの実習体験授業 ・ネコと冷蔵庫の共通点を探る~柔らかな感性で~	・見えている世界を考えよう。~視覚障がいとは...~ ・保育者・教育者を考えよう	絵本「はらぺこあおむし」を通して遊んでみよう!! 大学で必要な言葉の知識あれこれ

ひと足早く、気分は大学生!!

1 入試ガイダンス!

▲パンフレットやホームページだけではわからない最新入試情報をいち早くゲット!!

2 体験講義!

▲体験講義で大学生気分を満喫!! 最新設備を使った実技体験もあります。

3 キャンパスツアー!

▲先輩たちが親切にエスコート。きれいで充実したキャンパスをすみずみまでチェック!!

4 学食体験!

▲食にこだわる大学だから味にも自信!! 先生や先輩といっしょにランチタイム!

5 保護者説明会!

▲保護者のみなさまに、本学の入試や就職サポート体制、奨学金について説明をします。(3月はありません)

6 先生や先輩とトーク!

▲先生や先輩たちはみんな気さく。どんな大学生活を楽しんでいるか、教えてくれるよ!!

オープンキャンパスの  
ココをチェック!!

- 学風を確かめ、相性を探る
- 図書館も忘れずひとめぐり
- 筆記用具など持ち物に注意
- 複数大学に行って比較する
- なるべく少人数で参加する

「受験生応援プログラム」

推薦入試直前講座

10/7 土 10:00~12:30

夢を叶えるヒントを見つけに行こう!  
~面接・小論文対策~

BUNKYO Englishセミナー

10/7 土 10:00~12:30

~日本語禁止ルーム(GCC)で学内留学をしよう~

文教模試2017

12/2 土 9:30~13:15

文教大の攻略法を見つけよう!  
~国際言語学科主催~(サクセス国語/サクセス英語)

「進学相談会」

2017年(平成29年度) 北海道文教大学のブースへ、ご相談にお越しください。入退場自由、入場無料です。

月	日	曜日	時間	地区	会場
7	14	金	13:30~17:30	苫小牧	苫小牧ホワイトパークサンシャイン
	19	水	13:40~15:40 15:00~18:00	札幌	逸経町総合体育館 さっぽろ芸術文化の館
8	23	水	15:00~18:00	函館	ベルクラシック函館
	25	金	15:00~18:00	札幌	札幌パークホテル
	28	月	15:00~18:00	旭川	旭川グランドホテル
	29	火	15:00~18:00	帯広	ホテル日航ノースランド帯広
9	1	金	15:30~18:30	秋田	秋田拠点センターアルヴェ
	4	月	15:30~18:30	青森	青森国際ホテル
	5	火	15:30~18:30	八戸	八戸プラザホテル
	7	木	15:00~18:30	仙台	ホテルメトロポリタン仙台
	11	月	14:30~18:00	北見	ホテルベルクラシック北見
	13	水	14:30~18:00	小樽	グランドパーク小樽
	14	木	13:00~18:00	帯広	ホテル日航ノースランド帯広
	15	金	15:30~18:30	山形	山形国際ホテル
10	19	火	15:30~18:30	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館
	20	水	10:30~15:00	旭川	旭川大雪アリーナ
	22	金	13:00~18:00	札幌	ロイトン札幌
	25	月	15:00~18:00	新札幌	ホテルエミシア札幌
	10	火	15:30~17:30	函館	ベルクラシック函館
	12	木	15:30~17:30	帯広	ホテル日航ノースランド帯広
	13	金	15:30~17:30	旭川	アートホテル旭川(旧ロウジールホテル旭川)
16	月	15:30~17:30	釧路	釧路市観光国際交流センター	

月	日	曜日	時間	地区	会場
10	17	火	12:00~15:40 15:30~17:30	札幌	シャトレーゼ・ガトーキングダムサッポロ トーヨーグランドホテル
	18	水	15:30~17:30	北見	ホテルベルクラシック北見
	26	木	13:00~14:30	札幌	ホテルエミシア札幌
	7	火	15:00~17:30	紋別	紋別市スポーツセンター
	8	水	15:00~18:00 15:50~17:30	旭川	旭川グランドホテル 網走市総合体育館
		9	木	15:00~16:45 15:00~18:00	新札幌
	11	10	金	15:00~18:00 16:00~17:30	札幌
13		月	15:00~18:00	北見	ホテルベルクラシック北見
14		火	15:00~18:00	釧路	釧路市観光国際交流センター
15		水	15:00~18:00 13:40~15:10	帯広	ホテル日航ノースランド帯広 深川 深川体育館
16		木	15:00~18:00 15:00~18:00	室蘭	蓮味殿 札幌 シャトレーゼ・ガトーキングダムサッポロ
		20	月	15:00~18:00	新札幌
21		火	15:00~18:00	函館	ベルクラシック函館
12	22	水	10:50~12:40	旭川	旭川大学高等学校
	28	火	13:30~15:05	札幌	シャトレーゼ・ガトーキングダムサッポロ
	4	月	15:00~18:00	札幌	札幌グランドホテル
	15	金	15:30~17:30	札幌	さっぽろ芸術文化の館